

産業廃棄物処理実態調査票【その1】

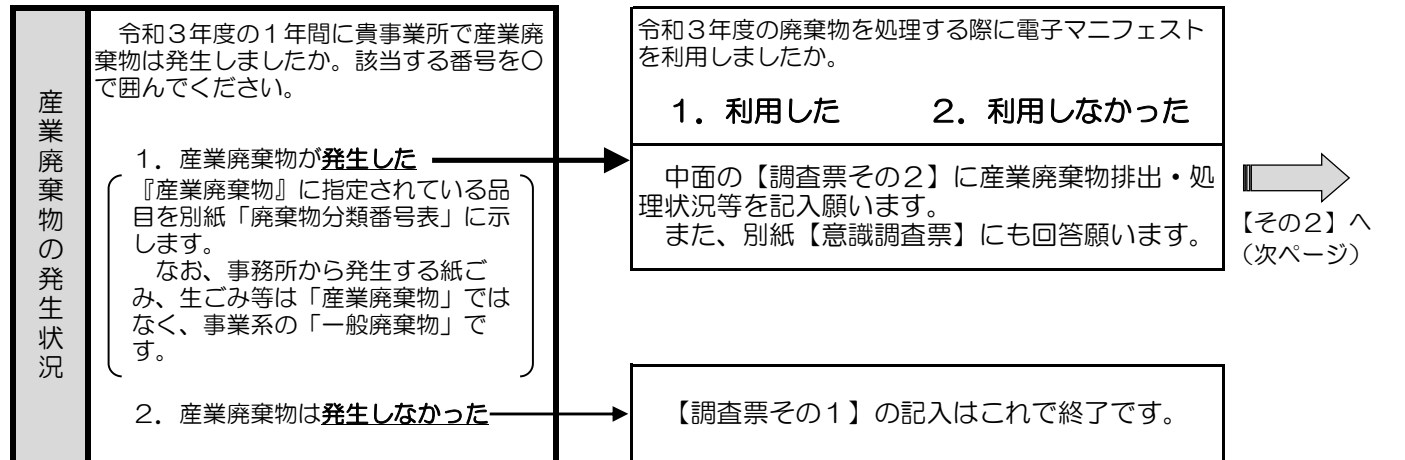
石川県

調査票番号

- 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物の全てが対象となります。
- 本調査の対象期間は令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）です。
- 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答えください。そのため、貴事業所以外に貴社の本社、工場、関連施設等があってもそれは調査の対象となりません。
- 調査票（その2）に貴事業所から発生する産業廃棄物の状況について記入してください。産業廃棄物が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票（その1）の「事業所の概要」、「事業の概要」欄をご回答の上、ご返送ください。

事業所の概要	事業所名						事業内容	
	所在地							
	記入者	部署名				電話番号		
		フリガナ氏名						
従業者数	令和4年3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入してください。					人		

事業の概要	砂利・玉石等採取量（鉱業のみ記入）	製造品出荷額（製造業のみ記入）	事業所の形態
	令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間の採取量を記入してください。	製造品出荷額は、工場出荷金額とし、加工（受託加工）賃収入額も含みます。税抜き金額を記入してください。	
		千 百 十 億 千 百 十 万 万 万 円/年	1. 工場・作業所（+事務所） 2. 開発・研究所（+事務所） 3. 事務所、店舗など 4. 医療機関 5. その他（ ）
	病床数（医療機関のみ記入）	販売額（卸売業、小売業のみ記入）	
	令和4年3月31日現在の病床数を記入してください。	令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間の額を記入してください。	
		千 百 十 億 千 百 十 万 万 円/年	



産業廃棄物実態調査票【その2】

＜令和3年度実績＞

- 別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類番号表」を参考に記入してください。
- 自社で発生した副産物(産業廃棄物、有償・無償引渡物)全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入してください。

①事業所で発生した廃棄物の名称
 貴事業所で発生した廃棄物の名称を記入して下さい。
 (別紙、「廃棄物分類番号表」に示した具体例を参照)
 ※同じ廃棄物で処理・処分の方法が異なる場合や、処理・処分先又は再生利用先が異なる場合は、複数行に分けて記入してください(別紙 記入例参照)。

②廃棄物の分類番号
 別紙、「廃棄物分類番号表」をみて該当する4ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量(中間処理する前の量)
 各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

④自社での中間処理方法
 自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑤中間処理後の量
 中間処理後の残量を記入して下さい。
 なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。

⑥処理・処分の方法
 発生(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物)した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称等
 処理・処分(⑥に該当する)等を行った先の名称を記入してください。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
 処理・処分(⑥に該当する)等を行った処理・処分施設のある所在地を記入してください。

※マニフェスト伝票を参考にされる場合、「処分受託者(処分業者)」欄に記載の「氏名又は名称」を⑦に、「運搬先の事業場(処分業者の処理施設)」欄に記載の「所在地」を⑧に記入してください。

⑨委託中間処理の方法
 ⑥の「処理・処分の方法」で「U1」と回答された場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分の方法
 委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んでください。
 1. 再生利用・リサイクルしている。
 2. 埋立処分している。

⑪資源化の用途
 ⑥の「処理・処分の方法」で「V1,W1,X1,R6」又は前問⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入してください。

			自社で発生した廃棄物等の発生量										自社での中間処理										自社処分・自社再利用、委託処理								委託中間処理			自社・委託での資源化																						
区分	F2 行番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量									④方法番号		⑤中間処理後量								⑥ 処理・処分の方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称		⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地		⑨方法番号			⑩ 処理後の 処分方法	⑪ 資源化用途																								
				百 万	十 万	万	千	百	十	-	小 数 点 以下	単 位	1 次 処 理	2 次 処 理	3 次 処 理	百 万	十 万	万	千	百	十	-						小 数 点 以下	単 位	1 次 処 理			2 次 処 理	3 次 処 理																						
記入欄	1																																																							
	2																																																							
	3																																																							
	4																																																							
	5																																																							
	6																																																							
	7																																																							
	8																																																							
	9																																																							
	10																																																							
	11																																																							
	12																																																							
	13																																																							
	14																																																							
	15																																																							

④中間処理方法コード表

A: 焼却	I: 圧縮	Q: 煮沸
B: 脱水	J: 熔融	R: オートクレーブ
C: 天日乾燥	K: 切断	S: 薬物消毒
D: 機械乾燥	L: 焼成	V: 濃縮
E: 油水分離	M: 堆肥化	W: 油化
F: 中和	N: 銀回収	X: 選別
G: 破碎	O: ｺﾝｸﾘｰﾄ 固型化	Y: 固形燃料化
H: 分級	P: 乾熱滅菌	Z: その他

↓

具体的に

⑥処理・処分方法コード表

<自己処理>
 V1: 自社(または自社他工場)で再利用した。
 V2: 売却できないものを自社で再利用した。
 W1: 売却(利益があった)した。
 Z1: 自社で保管している。

<市町村へ委託処理>
 R1: 市町村等が設置する一般廃棄物処分場で埋立した。
 R5: 市町村の清掃工場で焼却等の中間処理をした。(ごみ収集を含む)
 R6: 市町村の清掃工場でリサイクルした。

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
 U1: 処理業者に中間処理を委託した(資源化・リサイクルを含む)。
 X1: 廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。
 S1: 処理業者の処分場で中間処理をせず、直接埋立処理した。
 T1: 処理業者で直接海洋投入した。

<その他>
 Z9: その他

具体的に

⑨委託中間処理方法コード表

A: 焼却	I: 圧縮	Q: 煮沸
B: 脱水	J: 熔融	R: オートクレーブ
C: 天日乾燥	K: 切断	S: 薬物消毒
D: 機械乾燥	L: 焼成	V: 濃縮
E: 油水分離	M: 堆肥化(発酵)	W: 油化
F: 中和	N: 銀回収	X: 選別
G: 破碎	O: ｺﾝｸﾘｰﾄ 固型化	Y: 固形燃料化
H: 分級	P: 乾熱滅菌	Z: その他

↓

具体的に

⑪資源化用途コード表

10: 鉄鋼原料	70: ガラス原材料
20: 非鉄金属等原材料	80: プラスチック原材料
30: 燃料	81: 再生タイヤ
31: 木炭	90: セメント原材料
41: 飼料	91: 再生油・再生溶剤
42: 肥料・堆肥	92: 中和剤
43: 土壌改良材	93: コークス炉原料・高炉還元剤・ガス化
50: 土木・建設資材	
51: 再生木材・合板	
60: パルプ・紙原材料	
	98: その他

10~95に該当するものがない場合、⑪の枠中に具体的な用途を直接記入してください。

注) 行が不足する場合は、調査票をコピーして記入してください。なお、調査票は帝人エコ・サイエンス社のホームページよりダウンロードできますので、御活用ください。